OMRON

自動シャットダウンソフトウェア

PowerAttendant Standard Edition

コンソール設定ガイド

はじめに

本設定ガイドは PowerAttendant Standard Edition(以下、本ソフトウェア)の主な設定をコンソールで行うための手順を説明したものです。本ソフトウェアのインストール方法、ブラウザを使用する場合の設定方法などについては、本ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

- 本設定ガイドの内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されております。
- 本設定ガイドの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本設定ガイドに記載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。

登録商標について

- 「PowerAttendant」はオムロン株式会社の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

対象となる製品

- 本設定ガイドは以下の製品を対象にしています。
  - PowerAttendant Standard Edition

対象となる読者の方々

- 本設定ガイドは、次の方を対象に記述しています。
  - Windows 用のソフトウェアを使用する知識を有し、UPS の導入/運用を担当される方
  - Linux 用のソフトウェアを使用する知識を有し、UPS の導入/運用を担当される方
  - 本ソフトウェアの設定においてコンソールを使用したい方

目次

はじめに 1

取扱説明書の読み方 4

本設定ガイドに記載してあること 4
ページ構成と記号について 4
マークについて 4
表記について 4

用語説明 5

1. 機能概要 6

1-1 PAS コンソールを起動する 8
1-2 初回起動時の設定 9

2. 画面と操作 10

2-1 画面構成 10
2-2 メインメニュー 11
2-3 ログインとログアウト 12
2-3-1 ログイン 12
2-3-2 ログアウト 14

3. 画面説明 15

3-1 UPS モニター 15
3-2 シャットダウンパラメータ 16
3-2-1 基本設定 16
3-2-2 オプション設定 18
3-3 ログ 20
3-3-1 イベントログ 21
3-3-2 操作履歴ログ 22
3-3-3 UPS データログ 23
3-3-4 増設バッテリログ 24
3-3-5 ログ設定 25
3-4 連携シャットダウン 26
3-4-1 プライマリ設定 28
3-4-2 セカンダリ設定(プライマリと連携) 29
3-4-3 セカンダリ設定(ネットワークカードと連携) 30
3-5 スケジュール 31
3-5-1 スケジュール登録 31
3-6 COM／シリアルポート設定 35
3-7 設定ファイル 37
3-8 UPS 設定 38

3-8-1 基本設定 38
3-8-2 出力開始設定 39
3-9 UPS 制御 40
3-10 ユーザ管理 41
3-10-1 パスワード変更 41
3-10-2 ログイン ID 変更 42
3-11 その他 43
3-11-1 ポート設定 43
3-11-2 シャットダウン中ポップアップの表示 43
3-11-3 コマンド送信 44
3-12 ヘルプ 44
3-12-1 バージョン情報 44

取扱説明書の読み方

本設定ガイドに記載してあること

本ソフトウェアのコンソールを使用した設定方法などについて記載してあります。
本ソフトウェアのインストール方法や各機能の詳細などについては、本ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。
UPS 本体の説明については、各 UPS の取扱説明書をご参照ください。

ページ構成と記号について

本設定ガイドの各ページの構成と記号は次のとおりです。

マークについて

お願い
本ソフトウェアの動作不能、誤動作、または性能・機能への悪影響を予防するために、あらかじめ実施または回避すべきことを示します。

参考
必要に応じて読んでいただきたい項目です。
知っておくと便利な情報や、使用する上で参考となる内容について説明しています。

詳しい情報や、関連情報の記載されている場所を示します。

表記について

本設定ガイドでは、ソフトウェア画面上の項目やボタンについて、以下のように記述しています。

「　」.....画面に表示される項目で、画面名や設定値を表します。
(例)「メインメニュー」
［　］.....画面に表示される項目で、操作対象のもの(入力する操作コマンド)を表します。
(例)［「Q」終了］

用語説明

本取扱説明書では、特に説明する場合を除き、以下の用語を使用します。

用語	解説
UPS	無停電電源装置(Uninterruptible Power Supply)のことです。商用電源の異常発生時に、接続している機器へ安定して電力を供給する装置です。
接続機器	UPS に接続し、停電時などに UPS のバッテリから電力供給を受ける機器のことです。
商用電源	電力会社から送電される電力のことです。
AC 入力	商用電源から UPS に供給される電力のことです。
電源出力	UPS から接続機器に供給される電力のことです。
スタンバイモード	商用電源から UPS に電力は供給されているが、UPS の電源は入っていない状態です。
商用運転、商用モード	商用電源から UPS に電力が供給され、UPS から接続機器に電力が供給されている運転状態です。
バックアップ運転、 バッテリモード	AC 入力に異常が発生し、UPS のバッテリから接続機器への電力供給が行われている運転状態です。
コールドスタート	AC 入力がない場合もバッテリ電力で UPS を起動し、接続機器への電力供給を行うモードです。
自己診断テスト	UPS の故障やバッテリ劣化を検出するためのテストです。
製品番号	本ソフトウェアとともに使用する UPS の製造番号、シリアル No.、S/N、SN のことです。
連携シャットダウン	入力電源異常(停電など)が発生したとき、同一ネットワーク上にある複数のコンピュータを連携して自動シャットダウンする機能です。 １台のプライマリと、1 台以上のセカンダリで構成します。
プライマリ	連携シャットダウンの構成において、UPS と直接接続しており、入力電源異常(停電など)が発生したことを認識して自動シャットダウンを実行する役割のことです。 プライマリは、本ソフトウェアをインストールしたコンピュータまたは UPS に接続したネットワークカードのどちらかになります。
セカンダリ	プライマリとネットワーク連携して自動シャットダウンを実行する役割のことです。 セカンダリは、本ソフトウェアをインストールしたコンピュータになります。

1. 機能概要

PowerAttendant Standard Edition コンソール(以下、PAS コンソール)は、本ソフトウェアをコンソールで設定するためのソフトウェアです。
ブラウザが使用できない環境において、コンソール画面を使用して本ソフトウェアの設定を行うことができます。
本設定ガイドでは、PAS コンソールの操作方法のみを説明しています。本ソフトウェアの各機能の詳細については、以下の一覧表をご確認いただき、本ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

項目名	内容	本設定ガイド	取扱説明書
UPS モニター	UPS の状態などを表示します。	「3-1 UPS モニター」(15 ページ)	「3-1 本ソフトウェアの画面構成」
シャットダウンパラメータ	入力電源異常発生時の自動シャットダウンに関する設定を行います。	「3-2 シャットダウンパラメータ」(16 ページ)	「5. 自動シャットダウン機能を設定する（シャットダウンパラメータ）」
ログ	ログ情報を表示します。	「3-3 ログ」(20 ページ)	「7. ログを確認する」
連携シャットダウン	ネットワークで接続されている複数のコンピュータを自動シャットダウンするための設定を行います。	「3-4 連携シャットダウン」(26 ページ)	「8. 複数のコンピュータを自動シャットダウンさせる（連携シャットダウン）」
スケジュール	あらかじめ設定されたスケジュールに従って、コンピュータを自動シャットダウンするための設定を行います。	「3-5 スケジュール」(31 ページ)	「10. スケジュールを登録し、設定した動作を実行する」
COM 設定	UPS とコンピュータを RS232C で接続する場合の設定を行います。	「3-6 COM／シリアルポート設定」(35 ページ)	Windows 「8. COM ポートを設定する」 Linux 「8. シリアルポート設定する」
設定ファイル	本ソフトウェアの設定情報のファイルへの保存と読込を行います。	「3-7 設定ファイル」(37 ページ)	「18. 設定ファイルをインポート、エクスポートする」
UPS 設定	UPS 本体に設定する項目の設定を行います。	「3-8 UPS 設定」(38 ページ)	「14. UPS 本体の設定項目を変更する」
UPS 制御	UPS を制御するための操作を行います。	「3-9 UPS 制御」(40 ページ)	「15. UPS 本体を制御する」
ユーザ管理	ユーザ ID とパスワードの変更を行います。	「3-10 ユーザ管理」(41 ページ)	「16. ログイン ID、パスワードを変更する」
その他	ポート設定、ポップアップの表示、コマンド送信などの設定を行います。	「3-11 その他」(43 ページ)	「17. その他の設定」
ヘルプ	本ソフトウェアや接続している UPS などに関する情報を表示します。	「3-12 ヘルプ」(44 ページ)	「19. バージョン情報を確認する」

お願い

・本ソフトウェアの設定をブラウザで行う場合は、「スマートタスク」「UPS 冗長設定」「メール通知」機能の設定が可能ですが、PAS コンソールではこれらの設定はできません。
設定初期値のままとなります。

本ソフトウェアのインストール方法、アンインストール方法については、本ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

「3. インストール」
「6 アンインストール」

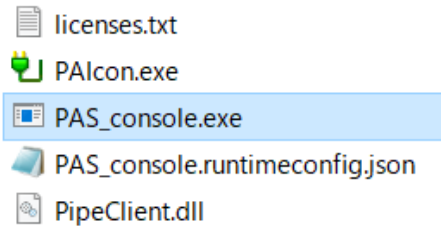
1-1 PAS コンソールを起動する

本ソフトウェアのインストール先にある PAS コンソールを実行することで、PAS コンソールの画面が起動します。

Windows の場合

以下のどちらかの方法で PAS コンソールを起動してください。
インストール時にインストール先を変更しなかった場合のインストールフォルダは以下となります。
C:¥Program Files¥OMRON¥PowerAttendant

エクスプローラーから起動する場合
インストールフォルダ内にある PAS_console.exe をダブルクリックします。



コマンドプロンプトから起動する場合
インストールフォルダ内にある PAS_console.exe を実行してください。

```
2024/02/08  16:16          167,424 PAIcon.exe
2024/04/01  14:43        1,497,844 PAS_console.exe
2024/01/11  17:59              253 PAS_console.runtimeconfig.json
2024/02/08  16:16          137,728 PipeClient.dll
2024/04/01  14:41        6,313,180 PowerAttendant.exe
```

Linux の場合

以下の方法で PAS コンソールを起動してください。
インストールディレクトリは以下となります。
/opt/OMRON/PowerAttendant

インストールディレクトリ内にある PAS_console を以下のコマンドで実行してください。
sudo ./ PAS_console

```
-rwxr-xr-x. 1 root root   51048  2月  8 18:14 PAIcon
-rwxr-xr-x. 1 root root     142  9月  5  2023 PAIcon.desktop
-rwxr-xr-x. 1 root root    8432  9月  8  2023 PAIconInit
-rwxr-xr-x. 1 root root 1447500  4月  1 14:48 PAS_console
-rwxr-xr-x. 1 root root 6262285  4月  1 14:55 PowerAttendant
-rw-r--r--. 1 root root   34382  7月 27  2017 PowerAttendant.png
```

1-2 初回起動時の設定

初回起動時には、本ソフトウェアで使用するログイン ID とパスワードを設定する必要があります。
すでにブラウザで初回起動時の設定を行っている場合は、PAS コンソールで初回起動時の設定を行う必要はありません。
ブラウザで初回起動時の設定を行っていない状態で PAS コンソールを起動した場合は、以下の手順に従いログイン ID とパスワードを設定してください。

お願い

- この画面は、ログイン ID とパスワードを設定するものです。
  本ソフトウェアへのログインは、本ソフトウェアのトップ画面が表示されてから、ここで設定したログイン ID とパスワードを使ってログインします。
- ログイン ID とパスワードは、あとから変更することも可能ですが、変更するためにはログインする必要があります。このため、初回起動時に設定したログイン ID とパスワードの情報は、忘れないように管理してください。

1．ログイン ID の設定

1 文字以上 128 文字以下で設定してください。初期値はありません。

```
初回起動時設定

「文字数：1~128」
ログインID：Admin
```

2．パスワードの設定

8 文字以上 32 文字以下で設定してください。初期値はありません。
英大文字、英小文字、数字、記号を必ず 1 文字以上使用してください。
パスワードの再入力を求められますので、同じパスワードを再度入力してください。

```
「文字数：8~32　英大文字/英小文字/数字/記号を必ず1文字以上」
パスワード：****************
パスワード（再入力）：****************
```

3．モード選択

初回起動時のモードを選択します。

```
モード選択
 1 プライマリ
 2 セカンダリ：プライマリと連携
 3 セカンダリ：ネットワークカードと連携

>1
```

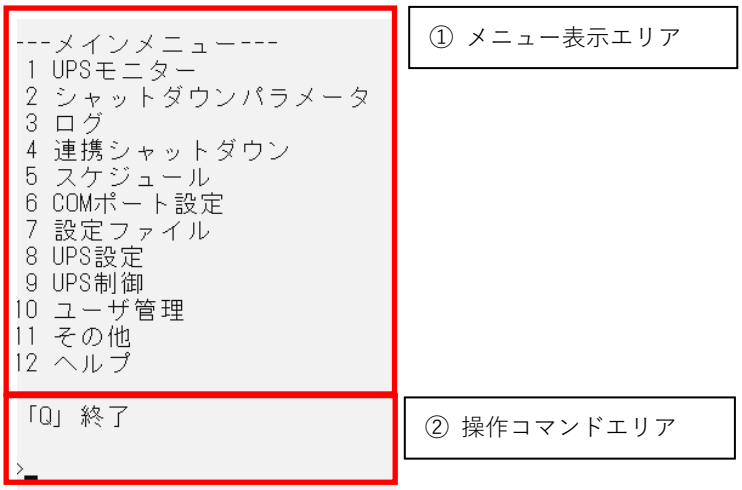
「3　セカンダリ：ネットワークカードと連携」は、S8BA では使用しません。

選択後、ログインを求めるプロンプトが表示されます。

2. 画面と操作

2-1 画面構成

PAS コンソールの画面は、以下のような画面構成となっています。
起動時には、以下のようなメインメニューが表示されます。



① メニュー表示エリア
設定・操作するためのメニューを表示します。
選択したメニューに応じて適切な設定項目が表示されます。

② 操作コマンドエリア
設定・操作するためのメニューを表示します。
選択したメニューに応じて適切な操作コマンドが表示されます。
画面上に表示されているコマンドのみ実行できます。
以下のコマンドが用意されています。

操作コマンド名	内容
「Q」終了	PAS コンソールを終了する
「B」戻る	1 つ前に戻る
「M」メインメニュー	メインメニューに戻る
「S」保存する	設定値を保存する
「C」登録	スケジュールを登録する
「C」接続する	UPS との COM 接続を開始する
「D」切断する	UPS との COM 接続を切断する
「O」ログアウト	ログアウトする
「Esc」キャンセル	操作をキャンセルする

2-2 メインメニュー

PAS コンソールのメインメニューです。
実行したいメニューの番号を入力して Enter キーを押下することで、その選択したメニューの画面が表示されます。

```
---メインメニュー---
 1 UPSモニター
 2 シャットダウンパラメータ
 3 ログ
 4 連携シャットダウン
 5 スケジュール
 6 COMポート設定
 7 設定ファイル
 8 UPS設定
 9 UPS制御
10 ユーザ管理
11 その他
12 ヘルプ
```

番号	項目名	内容
1	UPS モニター	UPS の状態などを表示します。 「3-1 UPS モニター」(15 ページ)
2	シャットダウンパラメータ	入力電源異常発生時の自動シャットダウンに関する設定を行います。 「3-2 シャットダウンパラメータ」(16 ページ)
3	ログ	ログ情報を表示します。 「3-3 ログ」(20 ページ)
4	連携シャットダウン	ネットワークで接続されている複数のコンピュータを自動シャットダウンするための設定を行います。 「3-4 連携シャットダウン」(26 ページ)
5	スケジュール	あらかじめ設定されたスケジュールに従って、コンピュータを自動シャットダウンするための設定を行います。 「 3-5 スケジュール」(31 ページ)
6	COM ポート設定	UPS とコンピュータを RS232C で接続する場合の設定を行います。 「3-6 COM／シリアルポート設定」(34 ページ)
7	設定ファイル	本ソフトウェアの設定情報のファイルへの保存と読込を行います。 「3-7 設定ファイル」(37 ページ)
8	UPS 設定	UPS 本体に設定する項目の設定を行います。 「3-8 UPS 設定」(38 ページ)
9	UPS 制御	UPS を制御するための操作を行います。 「3-9 UPS 制御」(40 ページ))
10	ユーザ管理	ユーザ ID とパスワードの変更を行います。 「3-10 ユーザ管理」(41 ページ)
11	その他	本ソフトウェアが使用するポート番号の設定を行います。 「3-11 その他」(43 ページ)
12	ヘルプ	本ソフトウェアや接続している UPS などに関する情報を表示します。 「3-12 ヘルプ」(44 ページ)

2-3 ログインとログアウト

PAS コンソールで設定を行う場合は、初回起動時に設定したログイン ID とパスワードで PAS コンソールにログインする必要があります。なお、ログイン ID またはパスワードが正しくないことによりログインに 3 回連続して失敗した場合は、自動ロックされます（2 分間ログインができません）。ロック中は正しいログイン ID とパスワードを入力してもログインできませんので、ロックが解除されるまでお待ちください。

2-3-1 ログイン

本ソフトウェアの起動時の場合

1. 本ソフトウェアのインストール先にある PAS コンソールを実行することで、PAS コンソールの画面が起動します。起動方法は各 OS により異なります。

「1-1 PAS コンソールを起動する」（8 ページ）

2. 以下のログインを求めるプロンプトが表示されますので、設定しているログイン ID とパスワードを入力します。

```
---ログイン---
ログインID：Admin
パスワード：***************
```

ログインすると、メインメニューが表示されます。

本ソフトウェアが起動中の場合
設定内容の確認や変更を実行しようとした場合にログインしていなければ、ログインを求めるプロンプトが表示されます。

例)ログインしていない状態でシャットダウンパラメータの設定確認を行おうとした場合

```
---メインメニュー---
 1 UPSモニター
 2 シャットダウンパラメータ
 3 ログ
 4 連携シャットダウン
 5 スケジュール
 6 COMポート設定
 7 設定ファイル
 8 UPS設定
 9 UPS制御
10 ユーザ管理
11 その他
12 ヘルプ
```

ログイン ID とパスワードの入力を求められます。

```
---ログイン---
ログインID：Admin
パスワード：***************
```

ログイン後にシャットダウンパラメータの設定情報の確認や変更を実行できます。

```
---シャットダウンパラメータ---
 1 OSシャットダウン：　はい
 2 OSシャットダウンのモード：　シャットダウン
 3 待機時間：　60 秒
 4 OSシャットダウンに必要な時間：　3 分
 5 出力停止までの時間：　3 分

「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー，「O」ログアウト
```

参考

ログインできるのは、ログインしていない状態から設定内容の確認や変更を行う場合のみとなります。
ログインした状態では、続けて設定変更を行うことが可能です。

2-3-2 ログアウト

ログインしている場合は、操作コマンドエリアに常に[「O」ログアウト]が表示されます。

```
「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー，「O」ログアウト
Admin>
```

[O]を入力することでログアウトすることができます。

参考

初回起動時に設定したログイン ID とパスワードは変更することができます。
変更方法についての詳細は、以下を参照ください。
「3-10 ユーザ管理」(41 ページ)

3. 画面説明

PAS コンソールの各メニューを選択して表示される画面について説明します。

3-1 UPS モニター

PAS コンソール起動時に最初に表示される画面です。接続されている UPS の状態を確認できます。
本ソフトウェアの画面をブラウザで表示させた場合の「固定表示エリア」に表示される情報と同じ内容になります。
接続している UPS の機種によって、表示される内容が異なります。

```
---UPSモニター---
型式:S8BA-24D24D240LF
運転状態:通常運転中
バッテリー状態:正常
接続方式:USB
出力状態: ON
入力電圧：  024.1 V
入力周波数：  --.- Hz
出力電圧：  024.1 V
出力周波数：   Hz
接続容量：  0 %
バッテリ容量：  100 %

「Esc」キャンセル
```

3-2 シャットダウンパラメータ

入力電源異常(停電など)が発生したときの、シャットダウン動作について設定します。
接続している UPS の機種によって、表示される内容が異なります。

3-2-1 基本設定

OS をシャットダウンする場合

入力電源異常(停電など)が発生したとき、自動シャットダウンを実行したい場合には、
「1 シャットダウンパラメータ」-「1 基本設定」の「1 OS シャットダウン」を「はい」で設定します。
接続している UPS の機種によって、表示される画面が異なります。

```
---シャットダウンパラメータ---
 1 OSシャットダウン：　はい
 2 OSシャットダウンのモード：　シャットダウン
 3 待機時間：　60 秒
 4 OSシャットダウンに必要な時間：　3 分
 5 出力停止までの時間：　3 分

「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー，「O」ログアウト
```

番号	項目名	説明
2	OS シャットダウンのモード	入力電源異常(停電など)が発生した場合の OS の終了状態を設定します。「シャットダウン」と「休止」から選択します。 ※「休止する」はデスクトップの状態をハードディスクに保存して終了します。再起動時には休止前のデスクトップ状態に戻ります。以下の場合は、「休止する」をお勧めします。 ・OS 終了時に保存したいデータがある。 ・最短の時間で OS を終了させたい。
3	待機時間	本ソフトウェアが入力電源異常を検出後、シャットダウンを開始するまでの時間を設定します。 ※本時間は入力電源異常が回復するか、様子を見る時間です。 ※本時間内に復電した場合は、シャットダウンを開始しません。
4	OS シャットダウンに必要な時間	OS のシャットダウン開始から確実に完了するまでに必要な時間を設定します。 本ソフトウェアを使用するコンピュータのシャットダウンにかかる時間を実際に測定して、その時間を設定することをお勧めします。
5	出力停止までの時間	出力停止するまでの時間を設定します。

設定が終わったら［S］を入力して設定を保存してください。

OS をシャットダウンしない場合

入力電源異常(停電など)が発生したとき、自動シャットダウンは実行せずに UPS からの出力を維持したい場合には、「1 シャットダウンパラメータ」-「1 基本設定」の「1 OS シャットダウン」を「いいえ」で設定します。

```
---シャットダウンパラメータ---
 1 OSシャットダウン：　いいえ
 2 UPSバックアップモード：　バッテリがなくなるまでバックアップする

「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー

>2

UPSバックアップモード：
 1 バッテリがなくなるまでバックアップする *
 2 最大バックアップ時間を設定する
```

```
---シャットダウンパラメータ---
 1 OSシャットダウン：　いいえ
 2 UPSバックアップモード：　最大バックアップ時間を設定する
 3 最大バックアップ時間を設定する：　　分
```

番号	項目名	説明
2	UPS バックアップモード	「1 バッテリがなくなるまでバックアップする」を選択した場合は、UPS はバッテリがなくなるまで、そのまま出力を継続します。 「2 最大バックアップ時間を設定する」を選択した場合は、「3 最大バックアップ時間を設定する」で設定した時間まで出力を継続します。

設定が終わったら［S］を入力して設定を保存してください。

3-2-2 オプション設定

入力電源異常時に UPS のバッテリ残量が少ない場合や、UPS 本体に異常が発生した場合など、緊急にシャットダウンが必要になった場合のシャットダウン動作を設定します。

```
---シャットダウンパラメータ---
 1 基本設定
 2 オプション

「B」戻る，「M」メインメニュー

>2

---UPS異常時シャットダウンオプション---
 1 緊急シャットダウン
 2 UPS本体の異常発生時のシャットダウン
 3 UPS本体バッテリの異常発生時のシャットダウン
```

番号	項目名	説明
1	緊急シャットダウン	UPS のバッテリ残量が少ない(バッテリロー状態)状態になると、直ちにシャットダウンを開始します。 シャットダウンは、シャットダウンパラメータの設定に従って動作しますが、待機時間とタスク時間は無視されます。ただし、すでにタスクを実行中にバッテリローになった場合は、そのタスクは最後まで実行されます。 初期値は OFF です。
2	UPS 本体の 異常発生時の シャットダウン	UPS 本体に異常が発生すると、シャットダウン動作を開始します。シャットダウン動作のトリガとなる異常の種類は、以下のイベントから選択できます。 ・UPS 異常検出　・バッテリ切断　・接続容量オーバー ・過電圧　・低電圧　・出力短絡異常 ・DC バス電圧異常　・トランス異常　・温度異常　・ファン異常 上記設定項目はすべての UPS で共通に表示されます。 ただし、UPS の機種によってサポートしていない項目もあります。 その場合は、その項目は UPS として異常状態にはならないため、設定が ON になっていてもシャットダウン動作は行いません。 初期値はすべて OFF です。
3	UPS 本体バッテリの異常発生時のシャットダウン	UPS 本体のバッテリに異常が発生すると、シャットダウン動作を開始します。シャットダウン動作のトリガとなる異常の種類は、以下のイベントから選択できます。 ・バッテリ異常検出　・バッテリ劣化　・バッテリ誤接続 ・バッテリ過充電異常　・バッテリ充電不足異常　・BMS 過電流 ・BMS 内部エラー　・充電故障　・BMS セル過電圧　・BMS セル低電圧 上記設定項目はすべての UPS で共通に表示されます。 ただし、UPS の機種によってサポートしていない項目もあります。 その場合は、その項目は UPS として異常状態にはならないため、設定が ON になっていてもシャットダウン動作は行いません。 初期値はすべて OFF です。

設定が終わったら［S］を入力して設定を保存してください。

```
---UPS異常時シャットダウンオプション---
 1 緊急シャットダウン
 2 UPS本体の異常発生時のシャットダウン
 3 UPS本体バッテリの異常発生時のシャットダウン

「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー

>2

---UPS本体の異常発生時のシャットダウン---
 1 UPS異常検出：OFF
 2 バッテリ切断：OFF
 3 接続容量オーバー：OFF
 4 過電圧：OFF
 5 低電圧：OFF
 6 出力短絡異常：OFF
 7 DCバス電圧異常：OFF
 8 トランス異常：OFF
 9 温度異常：OFF
10 ファン異常：OFF
```

```
---UPS異常時シャットダウンオプション---
 1 緊急シャットダウン
 2 UPS本体の異常発生時のシャットダウン
 3 UPS本体バッテリの異常発生時のシャットダウン

「B」戻る，「S」保存する，「M」メインメニュー

>3

---UPS本体バッテリの異常発生時のシャットダウン---
 1 バッテリ異常検出：OFF
 2 バッテリ劣化：OFF
 3 バッテリ誤接続：OFF
 4 バッテリ過充電異常：OFF
 5 バッテリ充電不足異常：OFF
 6 BMS過電流：OFF
 7 BMS内部エラー：OFF
 8 充電故障：OFF
 9 BMSセル過電圧：OFF
10 BMSセル低電圧：OFF
```

3-3 ログ

UPS または本ソフトウェアで発生したイベントや、UPS の電源の状態を記録します。
本ソフトウェアのログには、「イベントログ」「操作履歴ログ」「タスク履歴ログ」「データログ」「増設バッテリログ」の 5 つのメニューがありますが、PAS コンソールでは「タスク履歴ログ」についてのメニューはありません。
各ログのデータを確認したい場合は、PAS コンソールの画面上ではなく、エクスポートしたファイルにてご確認ください。

```
1 イベントログをエクスポートする
2 操作履歴ログをエクスポートする
3 UPSデータログをエクスポートする
4 増設バッテリログをエクスポートする
5 ログ設定
```

番号	項目名	説明
1	イベントログ	本ソフトウェアと UPS で発生したイベントを記録します。
2	操作履歴ログ	ユーザが本ソフトウェアを操作した履歴を記録します。
3	UPS データログ	UPS の状態を記録します。
4	増設バッテリログ	BV100REX が接続されている場合のみ増設バッテリログの状態を記録します。
5	ログ設定	ログの記録条件などの設定を行います。

お願い

イベントログで表示される UPS 本体のハードウェア異常は、機種ごとに検出内容が異なります。
ハードウェア異常の詳細については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

3-3-1 イベントログ

UPS と本ソフトウェアで発生したイベントを記録します。

```
1 イベントログをエクスポートする
2 操作履歴ログをエクスポートする
3 UPSデータログをエクスポートする
4 増設バッテリログをエクスポートする
5 ログ設定

「B」戻る，「M」メインメニュー，「O」ログアウト

Admin>1

---イベントログをエクスポートする---
保存する場所のパス：c:¥temp

エクスポートが完了しました
```

エクスポートが完了すると、指定した場所に以下のようなファイルがダウンロードされます。
ファイル名に含まれる数字は、エクスポートを実行した日付です。
EventLog20240314.zip

解凍すると、以下のような csv ファイルになりますので、イベントログの内容をご確認ください。
EventLog.csv

イベントログの内容

項目名	説明
日時	イベントが発生した日時。
レベル	イベントのレベル。 「警告」と「情報」の「エラー」3 種類。
種別	「UPS」⇒ UPS に関係するイベント。 「PowerAttendant」⇒ 本ソフトウェアに関係するイベント。 「連携シャットダウン」⇒ 連携シャットダウンに関するイベント 「COM ポート設定」⇒ COM ポート設定に関するイベント 「スケジュール」⇒ スケジュールに関するイベント 「メール通知」⇒ メール通知に関するイベント。
イベントログ	発生したイベントの内容。

3-3-2 操作履歴ログ

ユーザが本ソフトウェアを操作した履歴を記録します。

```
1 イベントログをエクスポートする
2 操作履歴ログをエクスポートする
3 UPSデータログをエクスポートする
4 増設バッテリログをエクスポートする
5 ログ設定

「B」戻る，「M」メインメニュー，「O」ログアウト

Admin>2

---操作履歴ログをエクスポートする---
保存する場所のパス：c:¥temp

エクスポートが完了しました
```

エクスポートが完了すると、指定した場所に以下のようなファイルがダウンロードされます。
ファイル名に含まれる数字は、エクスポートを実行した日付です。
HistoryLog20240315.zip

解凍すると、以下のような csv ファイルになりますので、操作履歴ログの内容をご確認ください。
EventLog.csv

操作履歴ログの内容

項目名	説明
日時	ユーザが操作した日時。
種別	ユーザが操作したメニューの種別。
動作	ユーザが操作した動作。 「登録」「変更」「削除」「ログイン」の 4 種類。
動作	ユーザが操作した項目。
変更前	変更前の内容。
変更後	変更後の内容。

3-3-3 UPS データログ

UPS の状態を記録します。

```
1 イベントログをエクスポートする
2 操作履歴ログをエクスポートする
3 UPSデータログをエクスポートする
4 増設バッテリログをエクスポートする
5 ログ設定

「B」戻る，「M」メインメニュー，「O」ログアウト

Admin>3

---UPSデータログをエクスポートする---
保存する場所のパス：c:¥temp

エクスポートが完了しました
```

エクスポートが完了すると、指定した場所に以下のようなファイルがダウンロードされます。
ファイル名に含まれる数字は、エクスポートを実行した日付です。
UPSDataLog20240315.zip

解凍すると、以下のような csv ファイルになりますので、操作履歴ログの内容をご確認ください。
UPSDataLog2024-03-15.csv

UPS データログの内容

項目名	説明
日時	UPS の状態を取得した日時。
型式	UPS の型式
入力電圧(V)	入力電圧
出力電圧(V)	出力電圧
バッテリ電圧(V)	バッテリの電圧
接続容量(%)	UPS に接続している負荷の容量
内部温度(°C)	UPS の内部温度
バッテリ容量(%)	バッテリの容量

3-3-4 増設バッテリログ

※S8BA では本機能は使用しません。

3-3-5 ログ設定

各ログに関する設定を行います。

```
 1 イベントログをエクスポートする
 2 操作履歴ログをエクスポートする
 3 UPSデータログをエクスポートする
 4 増設バッテリログをエクスポートする
 5 ログ設定

「B」戻る，「M」メインメニュー，「O」ログアウト

Admin>5

---ログ設定---
 イベントログ
 1 イベントログ最大記録件数：  1000
 操作履歴ログ
 2 操作履歴最大記録件数：  1000
 データログ
 3 記録期間：  15週
 4 記録間隔(通常運転時)：  60秒
 5 記録間隔(バッテリ運転時)：  10秒
 増設バッテリログ
 6 EBM記録期間：  15週
 7 増設バッテリログ記録間隔：  60秒
```

番号	項目名	説明
1	イベントログ　最大記録件数	イベントログを記録可能な最大件数。
2	操作履歴ログ　最大記録件数	操作履歴ログを記録可能な最大件数。
3	データログ　記録期間	データログを記録可能な最大期間。
4	データログ　記録間隔(通常運転時)	通常運転時のデータログの記録間隔。
5	データログ　記録間隔(バッテリ運転時)	バッテリ運転時のデータログの記録間隔。
6	EBM　記録期間	増設バッテリログを記録可能な最大期間。
7	増設バッテリログ　記録間隔	増設バッテリログの記録間隔。

6、7 の機能は、S8BA では使用しません。

3-4 連携シャットダウン

複数のコンピュータが 1 台の UPS から電源を供給されている構成において、入力電源異常(停電など)が発生した場合に、ネットワークで連携してすべてのコンピュータをシャットダウンすることができます。
すべてのコンピュータに本ソフトウェアをインストールして、USB または RS-232C で UPS と直接通信可能なコンピュータをプライマリ、それ以外のコンピュータをセカンダリに設定します。

「メインメニュー」で「4 連携シャットダウン」を選択すると、以下の画面が表示されます。

プライマリの場合

```
---連携シャットダウン---
 1 セカンダリとの通信
 連携モード：  プライマリ
 ホスト名：  DESKTOP-PQ2M84A
 ポート番号：  401
 連携状態：  停止
 2 設定
```

番号	項目名	説明
1	セカンダリとの通信	セカンダリとの通信の「停止」「開始」を設定します。 「1 連携を開始する」に設定するとセカンダリとの通信が可能となります。 (セカンダリからの通信を受信した場合に応答します) ---セカンダリとの通信--- 連携状態：停止 1 連携を開始する 「B」戻る，「M」メインメニュー，「O」ログアウト Admin>1 セカンダリとの通信が有効になりました 連携シャットダウンを使用しない場合(UPS に接続するコンピュータが 1 台のみの場合)は、「停止」に設定してください。
2	設定	現在設定している連携モードについての設定を行います。

セカンダリ(プライマリとの連携)の場合

```
---連携シャットダウン---
1 プライマリとの通信
連携モード：　セカンダリ：　プライマリと連携
連携アドレス：　192.168.100.100
ポート番号：　401
2 設定
```

番号	項目名	説明
1	プライマリとの通信	プライマリとの通信の「停止」「開始」を設定します。 「1 連携を開始する」に設定するとプライマリとの通信が可能となります。 (プライマリからの通信を受信した場合に応答します) **---プライマリとの通信---** **連携状態：　停止** **1 連携を開始する** 連携シャットダウンを使用しない場合(UPS に接続するコンピュータが 1 台のみの場合)は、「停止」に設定してください。
2	設定	現在設定している連携モードについての設定を行います。

セカンダリ(ネットワークカードとの連携)の場合

※プライマリの接続 UPS が S8BA の場合、ネットワークカードを装着できないため、本機能は使用できません。「プライマリとの通信連携モード」を「セカンダリ： ネットワークカードと連携」に設定しないでください。

3-4-1 プライマリ設定

USB または RS-232C で UPS と直接通信可能なコンピュータはプライマリとして使用します。
連携シャットダウンを使用しない場合(UPS に接続するコンピュータが 1 台のみの場合)も、プライマリとして使用します。

連携モードが「プライマリ」の場合、「2 設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---プライマリ設定---
 1 連携モード：   プライマリ
 2 ポート番号：   401
```

番号	項目名	説明
1	連携モード	連携モードを設定します。 「1 連携モード」を選択すると、以下の画面が表示されますので、使用したい連携モードを設定します。 ---連携モード--- 1 プライマリ 2 セカンダリ：プライマリと連携 3 セカンダリ：ネットワークカードと連携
2	ポート番号	セカンダリとの通信に使用するポート番号を設定します。 基本的には初期値のままで問題ありませんが、本ソフトウェア以外のソフトウェアが使用するポート番号と重複している場合など、必要に応じて変更してください。必ずセカンダリと同じポート番号を設定してください。 設定したポート番号で通信ができるように、プライマリとセカンダリの双方のコンピュータにファイアウォールの設定が必要です。設定したポート番号の TCP パケットが通信できるように設定してください。

設定が終わったら［S］を入力して設定を保存してください。

お願い

「連携状態」が「開始」になっている場合は、他のモードに変更することはできません。
変更する場合は、「停止」にしてから他のモードを選択してください。

参考

連携シャットダウンは、セカンダリからプライマリに対して通信を行って、入力電源異常(停電など)が発生しているかどうかを確認する仕組みになっています。
このため、プライマリには接続先としてのセカンダリの情報を入力する必要はありません。セカンダリとの通信で使用するポート番号を設定するのみです。

3-4-2 セカンダリ設定(プライマリと連携)

本ソフトウェアがプライマリとして動作しているコンピュータと連携する場合には、本モードに設定します。

連携モードが「セカンダリ設定(プライマリと連携)」の場合、「2 設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---セカンダリ設定：プライマリと連携---
 1 連携モード：　セカンダリ：プライマリと連携
 2 連携先アドレス：
 3 ポート番号：　401
 4 OSシャットダウンのモード：　シャットダウン
```

番号	項目名	説明
1	連携モード	連携モードを設定します。 「1 連携モード」を選択すると、以下の画面が表示されますので、使用したい連携モードを設定します。 ---連携モード--- 1 プライマリ 2 セカンダリ：プライマリと連携 3 セカンダリ：ネットワークカードと連携
2	連携先アドレス	連携するプライマリの IP アドレスを設定します。
3	ポート番号	プライマリとの通信に使用するポート番号を設定します。 基本的には初期値のままで問題ありませんが、本ソフトウェア以外のソフトウェアが使用するポート番号と重複している場合など、必要に応じて変更してください。必ずプライマリと同じポート番号を設定してください。 設定したポート番号で通信ができるように、プライマリとセカンダリの双方のコンピュータにファイアウォールの設定が必要です。設定したポート番号の TCP パケットが通信できるように設定してください。
4	OS シャットダウンのモード	セカンダリが動作しているコンピュータの OS のシャットダウンモードを選択します。「シャットダウン」「休止」から選択します。 コンピュータが「休止」をサポートしていない場合、OS のシャットダウン設定で「休止状態」が有効になっていない場合は、本ソフトウェアの「OS シャットダウンのモード」の選択項目として「休止」は表示されません。

設定が終わったら［S］を入力して設定を保存してください。

お願い

「連携状態」が「開始」になっている場合は、他のモードに変更することはできません。
変更する場合は、「停止」にしてから他のモードを選択してください。

3-4-3 セカンダリ設定(ネットワークカードと連携)

※プライマリの接続 UPS が S8BA の場合、ネットワークカードを装着できないため、本機能は使用できません。「プライマリとの通信連携モード」を「セカンダリ： ネットワークカードと連携」に設定しないでください。

3-5 スケジュール

あらかじめ決まった日時に、本ソフトウェアをインストールしたコンピュータと UPS に、以下の動作を実行させることができます。

動作種類	内容
UPS の停止	シャットダウンパラメータ設定に基づいて、UPS に接続されているコンピュータの OS をシャットダウンした後、UPS を停止します。
UPS の停止/起動	「UPS の停止動作」後、指定時間後に UPS を自動起動します。
自己診断テスト	UPS の自己診断テストを実行します。

「メインメニュー」から「5 スケジュール」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---スケジュール---
 1 スケジュール編集
 2 スケジュール登録
```

番号	項目名	設定内容
1	スケジュール編集	登録済のスケジュールの内容を編集します。
2	スケジュール登録	編集したスケジュールを登録します。

スケジュール設定の詳細については、本ソフトウェアの取扱説明書の「10. スケジュールを登録し、設定した動作を実行する」をご参照ください。

3-5-1 スケジュール登録

スケジュールの登録パターンは 3 種類あります。

「2 スケジュール登録」を選択すると、「スケジュール登録」のメニューが表示されます。

```
---スケジュール登録---
種類：
 1 一度だけ
 2 1週間ごと
 3 1ヶ月ごと
```

番号	項目名	設定内容
1	一度だけ	特定の日のみに実行したい場合に選択します。
2	1 週間ごと	特定の曜日に実行したい場合に選択します。
3	1 ヶ月ごと	毎月決まった日に実行したい場合に選択します。

特定の日のみ実行したい場合

設定した日時に 1 回のみ実行したい場合の設定方法です。
「スケジュール登録」のメニューで「一度だけ」を選択してください。

以下のメニューが表示されますので、必要な設定を行ってください。

```
パターン：　一度だけ
 1 タイトル：　test
 2 開始日：　2024-03-15
 3 開始時刻：　00:00
 4 動作：　OSシャットダウン
 5 UPS出力停止：　はい
 6 UPS停止モード：　設定時間経過後に出力開始する
 7 停止期間：　720 分
```

番号	項目名	設定内容
1	タイトル	登録するスケジュールが識別できるようなタイトルを設定します。
2	開始日	このスケジュールを開始する日を設定します。
3	開始時刻	このスケジュールを開始する時刻を設定します。
4	動作	スケジュール設定した日時に実行する動作を選択します。 「OS シャットダウン」「UPS 自己診断テスト」から選択します。
5	UPS 出力停止	チェックを入れると、スケジュール実行後に UPS の出力を停止します。 チェックが入っていない場合は、動作を実行するのみで UPS の出力は停止しません。
6	UPS 停止モード	選択すると以下のメニューが表示されます。 UPS出力停止モード： 1 設定時間経過後に出力開始する* 2 停止したままで出力開始しない シャットダウンを実行した後、設定した時間を経過したら UPS の出力を開始したい場合には「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択します。 UPS に接続したコンピュータのシャットダウンと再起動をスケジュール運転したい場合などに設定します。 シャットダウンを実行した後、UPS の出力を停止したままとしたい場合には「2 停止したままで出力開始しない」を選択します。
7	停止期間	「6 UPS 停止モード」で「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択した場合に、UPS を停止させる期間を設定します。

設定が終わったら［C］を入力してスケジュールを登録してください。

特定の曜日に実行したい場合

設定した曜日に実行したい場合の設定方法です。
「スケジュール登録」のメニューで「1 週間ごと」を選択してください。

以下のメニューが表示されますので、必要な設定を行ってください。

```
パターン：  1週間ごと
 1 タイトル：  test
 2 開始日：  2024-03-15
 3 開始時刻：  00:00
 4 実行日：  金曜日
 5 動作：  OSシャットダウン
 6 UPS出力停止：  はい
 7 UPS停止モード：  設定時間経過後に出力開始する
 8 停止期間：  720 分
```

番号	項目名	設定内容
1	タイトル	登録するスケジュールが識別できるようなタイトルを設定します。
2	開始日	このスケジュールを開始する日を設定します。
3	開始時刻	このスケジュールを開始する時刻を設定します。
4	実行日	このスケジュールを実行する曜日を設定します。
5	動作	スケジュール設定した日時に実行する動作を選択します。 「OS シャットダウン」「UPS 自己診断テスト」から選択します。
6	UPS 出力停止	チェックを入れると、スケジュール実行後に UPS の出力を停止します。 チェックが入っていない場合は、動作を実行するのみで UPS の出力は停止しません。
7	UPS 停止モード	選択すると以下のメニューが表示されます。 UPS出力停止モード： 1 設定時間経過後に出力開始する* 2 停止したままで出力開始しない シャットダウンを実行した後、設定した時間を経過したら UPS の出力を開始したい場合には「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択します。 UPS に接続したコンピュータのシャットダウンと再起動をスケジュール運転したい場合などに設定します。 シャットダウンを実行した後、UPS の出力を停止したままとしたい場合には「2 停止したままで出力開始しない」を選択します。
8	停止期間	「6 UPS 停止モード」で「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択した場合に、UPS を停止させる期間を設定します。

設定が終わったら［C］を入力してスケジュールを登録してください。

毎月決まった日に実行したい場合

設定した日に毎月実行したい場合の設定方法です。
「スケジュール登録」のメニューで「1 ヶ月ごと」を選択してください。

```
パターン：  1ヶ月ごと
 1 タイトル：  test
 2 開始日：  2024-03-15
 3 開始時刻：  00:00
 4 実行日：  15 日
 5 動作：  OSシャットダウン
 6 UPS出力停止：  はい
 7 UPS停止モード：  設定時間経過後に出力開始する
 8 停止期間：  720 分
```

番号	項目名	設定内容
1	タイトル	登録するスケジュールが識別できるようなタイトルを設定します。
2	開始日	このスケジュールを開始する日を設定します。 開始日として設定した以降において「4 実行日」で設定した日に、このスケジュールが毎月実行されます。
3	開始時刻	このスケジュールを開始する時刻を設定します。
4	実行日	このスケジュールを実行する日を設定します。
5	動作	スケジュール設定した日時に実行する動作を選択します。 「OS シャットダウン」「UPS 自己診断テスト」から選択します。
6	UPS 出力停止	チェックを入れると、スケジュール実行後に UPS の出力を停止します。 チェックが入っていない場合は、動作を実行するのみで UPS の出力は停止しません。
7	UPS 停止モード	選択すると以下のメニューが表示されます。 UPS出力停止モード： 1 設定時間経過後に出力開始する* 2 停止したままで出力開始しない シャットダウンを実行した後、設定した時間を経過したら UPS の出力を開始したい場合には「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択します。 UPS に接続したコンピュータのシャットダウンと再起動をスケジュール運転したい場合などに設定します。 シャットダウンを実行した後、UPS の出力を停止したままとしたい場合には「2 停止したままで出力開始しない」を選択します。
8	停止期間	「6 UPS 停止モード」で「1 設定時間経過後に出力開始する」を選択した場合に、UPS を停止させる期間を設定します。

設定が終わったら［C］を入力してスケジュールを登録してください。

お願い

・同じ日時に複数のスケジュールを登録した場合は、登録したスケジュールがどの順番に実行されるか特定することができません。時刻をズラして登録してください。

3-6 COM／シリアルポート設定

UPS と RS-232C 接続する場合に使用する COM／シリアルポートを設定します。
UPS と RS-232C 接続する場合は、最初にこの設定を行ってください。

参考

本設定項目は、UPS と RS-232C で接続した場合のみ有効となります。

Windows の場合

接続する場合
以下のメニューが表示されます。
UPS と接続している COM ポートを［↑］［↓］キーで選択して［C］を入力すると UPS と接続します。

```
---COMポート設定---
COM4

「C」接続する，「↑↓」選択，「B」戻る
```

切断する場合
以下のメニューが表示されます。
［D］を入力すると UPS と切断します。

```
---COMポート設定---
COM4

「D」切断する，「B」戻る

UPS切断されました
```

Linux の場合

接続する場合
以下のメニューが表示されます。
「/dev/ttyS1」のように、UPS と接続しているシリアルポートのデバイス名を直接手入力してください。
Enter キーを押下すると、UPS と接続します。

```
---シリアルポート設定---
UPSとの接続に使用するシリアルポート：/dev/ttyS1

「Esc」キャンセル
```

```
---シリアルポート設定---
UPSとの接続に使用するシリアルポート：/dev/ttyS1



UPS接続されました
```

切断する場合

以下のメニューが表示されます。

［D］を入力すると UPS と切断します。

```
---シリアルポート設定---
UPSとの接続に使用するシリアルポート：/dev/ttyS1

「D」切断する,「B」戻る
```

```
---シリアルポート設定---
UPSとの接続に使用するシリアルポート：/dev/ttyS1

「D」切断する,「B」戻る

UPS切断されました
```

お願い

別の UPS との通信接続を USB 接続に変更する場合など、COM／シリアルポートでの接続をやめる場合には、［切断］をクリックして通信接続を切断してから変更を行ってください。

3-7 設定ファイル

本ソフトウェアの設定情報を、外部にファイルとしてエクスポートしたり、エクスポートしたファイルをインポートしたりすることができます。
設定情報を保存したり、他のコンピュータにインストールした本ソフトウェアに設定情報をコピーする場合などに使用できます。

```
1 設定情報のエクスポート
2 設定情報のインポート
```

番号	項目名	設定内容
1	設定情報のエクスポート	設定情報をエクスポートします。 「保存する場所のパス」を指定すると、その場所に設定情報をエクスポートしたファイルが「Config.conf」というファイル名で作成されます。 保存する場所のパス：c:¥temp エクスポートが完了しました
2	設定情報のインポート	設定情報をインポートします。 インポートするファイルのパス名を指定すると、設定情報として読み込みます。 インポートファイルのパス：c:¥temp¥Config.conf

3-8 UPS 設定

UPS 本体の設定や、内蔵バッテリの交換日などについて設定できます。
接続している UPS の機種によって、表示される画面が異なります。

参考

・本設定項目は、UPS 本体が対応する機能を持たない機種では設定項目として表示されません。
・本設定項目の機能についての詳細は、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

「メインメニュー」で「8 UPS 設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---UPS設定---
 1 基本設定
 2 出力開始設定
```

番号	項目名	設定内容
1	基本設定	ブザー設定など、UPS に関する基本的な設定を行います。
2	出力開始設定	UPS 起動時の出力制御に関する設定を行います。

3-8-1 基本設定

以下の画面は基本設定画面の表示例です。どのような設定項目が表示されるかについては、接続している UPS の機種により異なります。

```
---基本設定---
 1 バッテリ自動テスト：  OFF
 2 出力開始時の自己診断テスト：  ON
 3 ブザー設定：  常時無効
 4 入力感度：  標準感度
 5 UPS使用開始日：  2024-03-01
 6 バッテリ交換日：  2023-12-02
```

以下の設定項目の中から、接続している UPS が対応している項目のみ表示されます。

項目名	設定内容
バッテリ自動テスト	UPS 本体で、バッテリ自動テストを行うようにするかどうかを設定します。
出力開始時自己診断テスト	出力開始時に自己診断テストを実行するかどうかを設定します。
ブザー設定	ブザーを鳴らす設定について、以下の 3 候補から選択します。 「常時無効」「バッテリ運転時無効」「常時有効」
入力感度	入力感度の設定について、以下の 3 候補から選択します。 「標準感度」「高感度」「低感度」
UPS 使用開始日	UPS の使用開始日を設定します。
バッテリ交換日	バッテリの交換日を設定します。 接続している UPS が BV100REX の場合のみ「増設バッテリ交換日」が設定項目として表示されます。

3-8-2 出力開始設定

UPS 起動時の出力の制御に関係する設定を行います。

接続している UPS の機種によって、表示される画面が異なります。

```
出力開始設定：
 1 UPSの出力開始遅延：  10 秒
 2 UPSコールドスタート：  OFF
 3 UPS自動起動：  ON
 4 出力開始バッテリ残量閾値：  0 %
```

以下の設定項目の中から、接続している UPS が対応している項目のみ表示されます。

項目名	設定内容
UPS の出力開始遅延	UPS 起動時の出力開始時に遅延をかけたい場合に設定します。
UPS コールドスタート	UPS のコールドスタートについて設定します。 有効になっている場合は、UPS への AC 入力がない場合でも、バッテリを使って UPS を起動することが可能です。
UPS 自動起動	UPS の自動起動について設定します。 有効になっている場合は、復電時に UPS が自動的に起動します。
出力開始バッテリ残量閾値	バッテリ残量がどのくらいあれば出力開始するかの閾値を設定します。

3-9 UPS 制御

UPS の制御を行います。接続している UPS の機種によって、表示される画面が異なります。

参考

・本項目は、UPS 本体が対応する機能を持たない機種では項目として表示されません。
・本項目の機能についての詳細は、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

「メインメニュー」で「9 UPS 制御」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---UPS制御---
 1 ブザーテスト
 2 自己診断テスト
```

以下の項目の中から、接続している UPS が対応している項目のみ表示されます。

項目名	設定内容
ブザーテスト	選択するとブザーが鳴ります。 ブザーが故障していないか確認する際にご使用ください。
自己診断テスト	選択すると自己診断テストを実行します。 UPS が故障していないか確認する際にご使用ください。

3-10 ユーザ管理

ユーザのログイン ID とパスワードを変更できます。

「メインメニュー」で「10 ユーザ管理」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
1 パスワード変更
2 ログインID変更
```

番号	項目名	設定内容
1	パスワード変更	登録しているユーザのパスワードを変更します。
2	ログイン ID 変更	登録しているユーザのパスワードを変更します。

3-10-1 パスワード変更

登録しているユーザのパスワードを変更します。

「10 ユーザ管理」で「1 パスワード変更」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
現在のパスワード：****************

「文字数：8~32　英大文字/英小文字/数字/記号を必ず1文字以上」
新しいパスワード：****************

パスワード（再入力）：****************

パスワードが変更されたため、再ログインしてください
```

項目名	設定内容
現在のパスワード	現在設定しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード (再入力)	確認のため新しいパスワードを再入力します。

パスワードは、8 文字以上 32 文字以下で設定してください。

英大文字、英小文字、数字、記号を必ず 1 文字以上使用してください。

再ログインするようにメッセージが表示されますので、設定した新しいパスワードで再度ログインしてください。

お願い

・PAS コンソールで設定変更を行うためにはログインする必要があります。
　このため、変更したパスワードの情報は、忘れないように管理してください。

3-10-2 ログイン ID 変更

登録しているユーザのパスワードを変更します。

「10 ユーザ管理」で「2 ログイン ID 変更」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
「文字数：1~128」
新しいログインID：Admin2

ログインIDが変更されたため、再ログインしてください
```

項目名	設定内容
新しいログイン ID	新しいログイン ID を入力します。

ログイン ID は、1 文字以上 128 文字以下で設定してください。

再ログインするようにメッセージが表示されますので、設定した新しいパスワードで再度ログインしてください。

お願い

・PAS コンソールで設定変更を行うためにはログインする必要があります。
　このため、変更したログイン ID の情報は、忘れないように管理してください。

3-11 その他

ポート設定、シャットダウン中ポップアップの表示、コマンド送信の設定ができます。
「メインメニュー」で「11 その他」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---その他---
 1 ポート設定
 2 シャットダウン中ポップアップの表示
 3 コマンド送信
```

番号	項目名	説明
1	ポート設定	本ソフトウェアの HTTP ポート番号を設定します。
2	シャットダウン中ポップアップの表示	シャットダウン中ポップアップの表示を設定します。
3	コマンド送信	UPS にコマンドを送信します。

3-11-1 ポート設定

本ソフトウェアの画面表示のために使用する HTTP ポート番号はインストール時に設定しますが、この HTTP ポート番号が他のアプリケーションと競合するなどのため別の HTTP ポート番号に変更したい場合に使用します。
「その他」で「1 ポート設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

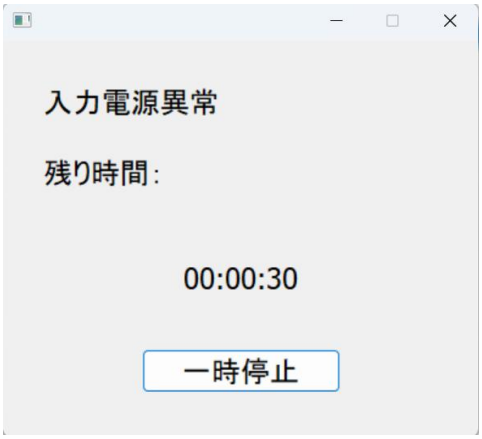
```
---ポート設定---
ポート番号：ポート番号(1~65535): 80
```

3-11-2 シャットダウン中ポップアップの表示

シャットダウン中に表示されるカウントダウン表示を設定します。シャットダウン中にポップアップを表示する場合は、「有効」、非表示にする場合は「無効」を選択してください。

```
シャットダウン中ポップアップの表示：
 1 有効 *
 2 無効
```

入力電源異常
シャットダウンパラメータで設定された待機時間の残り時間が表示されます。



3-11-3 コマンド送信

UPS に直接コマンドを送信します。
「その他」で「3 コマンド送信」を選択すると、以下の画面が表示されます。

```
---コマンド送信---
コマンド送信：
```

コマンドを入力して Enter キーを押下すると、コマンドの実行結果が表示されます。

参考

コマンド送信は、障害発生時などに UPS の状態を確認するためなどの目的で使用する機能です。
カスタマサポート等で指示があった場合に使用してください。

3-12 ヘルプ

3-12-1 バージョン情報

本ソフトウェアや接続している UPS、使用環境などに関する情報を表示します。
「メインメニュー」で「13 ヘルプ」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

```
---ヘルプ---
 1 バージョン情報
```

さらに、「1 バージョン情報」を選択すると、以下のメニューが表示されます。

```
---バージョン情報---
 1 PowerAttendantの情報
 2 接続しているUPSの情報
 3 PC情報
```

番号	項目名	設定内容
1	PowerAttendant の情報	インストールしている本ソフトウェアに関する情報を表示します。
2	接続している UPS の情報	接続している UPS に関する情報を表示します。
3	PC 情報	本ソフトウェアをインストールしているコンピュータに関する情報を表示します。

PowerAttendant の情報

インストールしている本ソフトウェアに関する情報を表示します。

```
----PowerAttendant の情報----
バージョン番号：Standard Edition 2.3.0
リリース日：2026/10/19
ライセンス：C:¥Program Files¥OMRON¥PowerAttendant¥licenses.txt
```

項目名	表示内容
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョン。
リリース日	本ソフトウェアのリリース日。

ライセンス	本ソフトウェアで使用しているオープンソースに関する情報を記載したファイルの置き場所が表示されます。

接続している UPS の情報

接続している UPS に関する情報を表示します。

```
---接続しているUPSの情報---
型式：S8BA-24D24D240LF
ファームウェアのバージョン：M:1.90 (S:-.--)
シリアルNo.：1234567890ABCDEF
```

項目名	表示内容
型式	接続している UPS の型式。
ファームウェアのバージョン	接続している UPS のファームウェアのバージョン。
シリアル No.	接続している UPS の製造番号。

PC 情報

本ソフトウェアをインストールしているコンピュータに関する情報を表示します。

```
--PC 情報---
カーネルのバージョン：Microsoft Windows NT 10.0.19045.0
ホスト名：test
.Net のバージョン：10.0.10
```

項目名	表示内容
カーネルのバージョン	カーネルのバージョン。OS のバージョンではありません。 ※カーネルとは、OS の基本機能の役割を担うソフトウェアのことです。
ホスト名	ホスト名。
.Net のバージョン	インストールしてある.NET のバージョン。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様相談室

フリー通話 0120-919-066（クイック オムロン）

携帯電話の場合、
055-982-5015（有料）をご利用ください。

受付時間：9:00～17:00（土・日・12/31～1/3を除く）

オムロンFAクイックチャット
www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/
技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。（I-Webメンバーズ限定）
受付時間：平日9:00～12:00 / 13:00～17:00（土日祝日・年末年始・当社休業日を除く）
※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。

その他のお問い合わせ：納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧いただけます。緊急時のご購入にもご利用ください。www.fa.omron.co.jp

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載しており、ご使用上の注意事項等を掲載していない製品も含まれています。
本誌に注意事項等の掲載のない製品につきましては、ユーザーズマニュアル掲載のご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容を必ずお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザ購入価格を表示したものでありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌にオープン価格の記載がある商品については、標準価格を決めていません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物（又は技術）に該当するものを輸出（又は非居住者に提供）する場合は同法に基づく輸出許可、承認（又は役務取引許可）が必要です。
- 規格認証/適合対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp)の「規格認証/適合」をご覧ください。

オムロン商品のご用命は

Man. No. K1M-D-26005B　2026年9月現在

©OMRON Corporation 2018-2026 All Rights Reserved.
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください